

会 議 録

会議の名称	登米市立小・中学校「学校再編に係る地域座談会」(豊里地域)	
開催日時	令和元年 5月28日(火)	
	午後 7時 00分 開会	
	午後 8時 00分 閉会	
開催場所	豊里多目的研修センター 多目的研修室	
教育委員会 出席者氏名	教育部長	
	教育部次長兼学校教育管理監	
	学校再編推進室長	
	学校再編推進室 学校再編推進係長	
	学校再編推進室 主事	
参加者数	7名	
挨拶	事務局	開会 午後7時00分
	部長	開会挨拶
説明	事務局	配布資料に沿って「登米市立小中学校等再編構想」及び「(仮称)学校統合準備委員会の設置」について説明
質問	事務局	意見交換・質疑応答
	出席者1	豊里地域では小中一貫校になって10数年経過している。豊里地域の小中一貫校の状況をこれまで他の地域に情報提供していると思うが、こういった形で情報提供しているのか教えていただきたい。他町域の方から状況を聞かれることがあるので、経緯や課題等について教えていただければと思う。
答弁	管理監	昨日の南方地域の地域座談会で豊里小中学校の成果、課題について質問があり情報提供を行った。また、他の地域でもほとんど全ての地域で小中一貫校についてご質問を頂いている。それに対する回答については、児童生徒数が少ない地域では小中一貫校にしたとしても中学校の生徒数は変わらず、免許外指導や部活動をはじめとする学校活動に制限が出るといった課題が残されてしまうため、単学級の中学校を地域に残すために小中一貫校を導入する考えは無く、小学校の再編が落ち着いた後又は小学校の再編と平行して中学校については町域を越えた再編を検討していきたいとお答えしている。
質問	出席者2	学校再編と関係あるかどうか分からないが質問させていただく。現在1小学校区に1館という形で公民館が配置されているが、学校再編により現在の公民館の配置も見直されるのか。
答弁	室長	学校再編の進捗とは別であるが、市では公共施設全体を見据え保有量を適正化するために公共施設総合管理計画を策定し、市が保有する各分野の施設を平成47年までに現在の保有量の25%を削減するという数値目標を掲げている。その目標に向かって各分野の施設毎の統廃合に

		<p>関する個別計画を策定しているところである。生涯学習施設についても同じ町域に同規模の施設が存在するケースがある。老朽化等の状況や施設の機能や廃止した場合の代替施設等いろいろな角度から計画について検討を行っている。</p>
質問	出席者 3	<p>初めて座談会に参加し、良く分からないので質問する。何人で編成するといった基準はあるのか。</p>
答弁	管理監	<p>学級については基準があるのでそれに基づいた学級編成となる。一般的には小学校 1 年生は 35 人学級、それ以外の学年については 40 人学級となっている。また宮城県の基準として弾力化ということで、小学校 1 年生に加え小学校 2 年生及び中学校 1 年生も 35 人学級で編成することとなっている。35 人学級の場合は 36 人から 40 人学級の場合は 41 人から 2 学級編成となる。</p>
質問	出席者 1	<p>座談会を行っている中で反対されている地域はあるのか。それとも全地域でやむを得ないという雰囲気なのか。</p>
答弁	室長	<p>昨日までで 6 町域で座談会を行ってきた。1カ所目の東和地域では、明確に反対というのは無く、進めて行かなくてはならないと理解はいただいていると思われるものの、再編を進めるにあたってどこの校舎を活用するだとかそういった部分で揉めてまとまらないのではないかという意見は頂いた。その他の地域については早く進めて欲しいという意見があると同時に（仮称）学校統合準備委員会の内容を委員の方以外にも周知を行い皆が納得した形で進めて欲しいというご意見も多数頂いた。頂いた意見を参考に情報提供等に配慮して進めて行きたい。</p>
質問	出席者 2	<p>2 地域の統合は考えているのか。</p>
答弁	室長	<p>基本構想では小学校の複式学級、単学級の解消を優先課題としている。小学校の統合については、旧町域に 1 校は残すということで進めている。一部地域では統合したとしても単学級の解消までは至らないが、通学距離、時間を考慮すると小学校については町域を越えた再編は現段階では難しいと判断し、この様な考えに至っている。一方で中学校については町域内に一つとなると、先ほどの話にもあったが教員は位置や学校活動で課題が残される可能性があるため、町域を越えた統合も検討していく。また、参加いただいた保護者の方からも小学校も重要だが中学校も重要だ、中学校も早く進めて欲しいという意見も頂いている。そういった地域については小学校と中学校の再編を平行して進めるといったことも考えられる。</p>
質問	出席者 1	<p>昔の情報をご存知であれば教えていただきたい。約 40 年前に小学校の統合があり豊里小学校が出来たと記憶している。その際は円滑に進んだのか。豊里の方もいらっしゃっているので話を聞きたい。</p> <p>（他の出席者から「宮城県沖地震の影響で校舎が損壊し、統合せざるを得なかったので揉めたことはなかったと記憶している。」等の声あり。）</p>

答弁	部長	旧町域のことであり、資料を持ち合わせていないため、今お答えはできない。申し訳ない。
質問	出席者 4	先ほど小中一貫校の話があったが、小中一貫校については今回の再編とは切り離して考える事でよろしいか。他の地域で統合と同時に小中一貫校にしたいという要望は無かったか。
答弁	管理監	小規模校ではなく適正規模を確保できる見込みの地域で質問があった際には保護者の方、地域の方を交え統合準備委員会で検討していくことと捉えているとお答えしたので、絶対に小中一貫校にはしないということではない。ただ、中学校の再編については市全域を見据えた中で検討するという視点が必要になってくる可能性がある。地域との話し合いと全体の動き次第かと思われる。
質問	出席者 4	豊里の場合、当面の間は要望があれば再編を検討するということがあったが、どういった要望を考えているのか。隣接地域と統合したいとかそういう話か。
答弁	管理監	小学校は町域に1校配置することとしているのでそのままになる。中学校については小中一貫校となっているが、全体で見た時に中学校を他の地域の中学校と統合するといったことは、選択肢の一つとして出てくる場合もあると考えられる。
質問	出席者 2	豊里地域については、統合準備委員会も当面は設置もされないということによろしいか。それとも立ち上げ自体は行うのか。要望があればというのはどういう要望を想定しているのか。個人的な要望でいいのか団体的な要望が欲しいのか。
答弁	室長	統合準備委員会については前期計画に区分される4地区について立ち上げを行うが、1地域1校になっているとか当面適正規模が確保できる見込みとなっている後期計画の地域については検討に入るのは早いと判断している。前期の4地区を進める中で中学校の再編も必要となり、後期計画の地域にも影響が出てくる可能性があり、その時は豊里地域についても立ち上げを行う。
質問	出席者 2	その時期が来た時は教育委員会から働きかけがあるのか。
答弁	室長	教育委員会から働きかけをする。それ以外の場合については保護者の方や地域の方からの要望があれば検討を行う。要望の挙げ方についてはPTAなど代表者が統合準備委員会の委員となっているような団体から総意として挙げていただく事を想定している。
質問	出席者 2	津山町域だと令和10年度で児童数が1～6年生で64名となる見込みの様だが、これだとどういった学級編成になるのか。1年生から3年生まで一つの教室に入れるということも考えられるのか。5人とか6人になっても1学年は1学年として編成するのか。

答弁	管理監	資料3ページの米印に説明を記載しているが、隣り合う二つの学年が合わせて16人以下、1年生が含まれる場合は8人以下になると複式学級という形になる。ただ、例えば2年生と4年生が併せて16人以下であっても複式学級にはならないことになっている。登米市で一番少ない学級となると6年生で2名という学級があるが、5年生が15名おり合わせて17名ということで複式学級とはなっていない。また複式学級の対象であっても2学年合わせて13名以上の場合は県の方から加配ということで教員1名を配置してもらえるため、今現在は複式学級の規模であっても複式学級を編成している学校はない。
挨拶	部長	閉会挨拶
	事務局	閉会 午後8時00分